



## 第5回 グローバル・アセットオーナーフォーラムの概要

### 1. 開催日

2019年3月4日(月)

### 2. 出席アセットオーナー(\*は共同幹事)

Government Pension Investment Fund (GPIF)\* – 日本

California Public Employees' Retirement System (CalPERS)\* – 米国

California State Teachers' Retirement System (CalSTRS)\* – 米国

The World Bank Treasury – 米国

Florida State Board of Administration – 米国

New York State Common Retirement Fund – 米国

British Columbia Investment Management Corporation – カナダ

Ontario Teachers' Pension Plan – カナダ

APG – オランダ

PGGM – オランダ

### 3. 本フォーラムの目的

- ・アセットオーナー間での環境・社会・ガバナンス(ESG)についての意見交換
- ・アセットオーナーとアセットマネージャーの利益の合致を図るベストプラクティスの共有

### 4. 今回のフォーラムにおける主な発言(サマリー)

#### (1) Sustainable Development Goals (SDGs) ～SDGs についての意見交換～

参加機関は共通して SDGs(国連の持続可能な開発目標)の機運が盛り上がっていると認識しているものの、投資へのインテグレーションの深みは参加機関によって様々である。オランダの参加機関では、SDGs を責任投資ポリシーに組み入れ、投資機会として明確にリンクさせている。一方で、SDGs が既存の投資マニフェストと如何に適合するかについて評価を続けている機関もある。また、内部スタッフの SDGs に対する理解度に差があることを課題に挙げた機関もあった。参加機関の間では、将来の維持可

能な開発は長期投資におけるリスクと機会の両方にインパクトを与えるという期待のもと、SDGs を議論することが重要であるという信念が共有されている。

SDGs の達成には新興国へのさらなる投資が必要という提言がなされた。低・中所得国に対するインフラ投資はリスクが低く、更に先進国対新興国でのリスク度比較は容易という指摘もなされた。また、世界銀行からは、SDGs が如何に創設され、世界銀行が金融の枠組みを含めて如何に SDGs を支援しているかの概要が説明された。

## **(2) Climate Action 100+ ～イニシアティブについての意見交換～**

合計161社に対するエンゲージメントが世界各地で進められている。本イニシアティブの、①企業の気候変動リスクと機会についてのガバナンスの改善、②温室効果ガス排出量の削減、③気候変動に関する財務情報開示促進の3つの目的について認識を共有した。

## **(3) 気候変動関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) ～TCFD 提言についての意見交換～**

企業は全体的に TCFD 提言にポジティブに対応しているという認識で参加機関は一致。また、企業にとっては、情報開示や財務影響等の評価において法制度との関係で留意すべき点があることを含めて「指標と目標」が最も難しい項目と推測される。機関投資家が歩調を合わせて継続的なメッセージ発信を行うことが提言の趣旨に沿うという理解を共有。

## **(4) Sustainable Accounting Board Standards (SASB) ～SASB についての意見交換～**

SASB は米国の観点で見た基準という点を考慮しても、全ての投資家にとって実的な価値を持つという認識であり、特に「セクター別マテリアルマップ」はマテリアリティ(重要課題)の特定に有益。参加機関は、SASB が財務情報の制度開示の枠から任意開示に活用されつつある状況を評価する一方、ガバナンスと報酬に関する基準も SASB が組み入れることを期待する。

## **(5) GPIF の運用受託機関の役職員の報酬体系(インセンティブ構造)についての調査**

GPIF は運用受託機関の役員、運用および ESG チームのインセンティブ構造を含む報酬体系調査業務を外部の人事コンサルティング会社に委託。アセットオーナーとアセットマネージャーの間のアラインメント(利益の一致)は、長期インセンティブの時間軸をより重視することで強化されるとの示唆を得ている。

なお、本フォーラムの議事について、発言者が特定されない形で、テーマや議論の概要などを公開してはどうかという提案があり、全参加メンバーが賛同したため、概要を公開することとする。

以上